



市民提案型協働事業 成果報告

# 子ども輝く はだのふれーパーク

こだめき会 代表 西村悦子

## 事業概要

子どもたちに「生き生きとした子ども時代」を送ってほしいという思いから、子どもたちが自然の中で、できる限り自由に思いきり遊ぶ事ができる場の提供をしている。

秦野の豊かな自然の中で、子どもたちが自分の中にある「やりたい」という気持ちを見つけ、実現できる場としてはだのプレーパークを月に1回開催した。



# プレーパークの成果①

・2024年度の活動実績 ……総来場者数695人

	日付	内容	開催場所	開催時間	スタッフ数	来場者数	
1	2024-04-21	青空ヨガ	カルチャーパーク芝生広場	10:00-15:00	5	5	50
2	2024-05-05	こどもまつり	カルチャーパーク芝生広場	10:00-15:00	5	8	300
3	2024-05-19	川遊び、焚き火	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	50
4	2024-06-16	川遊びマルシェ	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	100
5	2024-06-21	プレーパークミニ	カルチャーパーク芝生広場	10:00-12:00	2	3	5
6	2024-07-21	川遊び	四十八瀬川	10:00-15:00	5	5	40
7	2024-08-31	川遊び	四十八瀬川	10:00-15:00	5	5	40
8	2024-09-15	つながる農マルシェ	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	150
9	2024-10-20	ひかる泥団子作り	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	50
10	2024-11-17	芸術の秋を楽しむ	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	50
11	2024-12-15	クリスマスマーケット	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	40
12	2025-01-19	正月遊び、竹の籠編み	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	40
13	2025-02-16	ひな飾り工作	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	40
14	2025-03-16	お別れ会、竹の籠編み	秦野市菖蒲みや古食堂裏の河原	10:00-15:00	5	5	40

## フレーザーパークの成果②

秦野市の  
豊かな自然

○子どもが自然の中に、心地よく身を置くことにより、四季を五感で感じ、自然を好きになり、自然を大切にしたい気持ちが心の内側から生まれる。  
○秦野の自然を子どもたちがもっと好きになり、将来的な人口流出を防げる。

○異なる年齢の子ども同士のコミュニケーションを通じて仲間と遊ぶ面白さを体感できる。  
○親子参加により親同士の交流が生まれ、子育ての孤立を防ぐ。

子育て  
の孤立  
の防止

はだの  
フレーザーパーク

子ども  
たちの  
成長

○周りに指示命令されないことにより、主体性が育まれる。  
○自然の中で子どものストレスを解放し、癒す事ができる。  
○自然にあるものを使い、工夫して遊ぶことによって創造性が身につく。

交流の場

○地域交流のワークショップ等を通じて、たくさん子ども達や高齢者等の交流の機会が増え、市の活性化につながる。

# 団体と市の協働評価

## ○団体

協働事業になり、安心感をもち、沢山の方に遊びに来てもらうことが出来た。

市の負担金により、毎月プレイリーダー※を呼ぶことができ、様々な遊びを展開し、毎月たくさんの子どもたちの生き生きと遊ぶ姿が見られた。

また、市長との意見交換会を設けることができたり、市長に実際にプレーパークに見学に来て頂いたり、こども育成課、こども政策課の方にも来て頂き、どんな場か見て頂くことができた。

※プレイリーダーは、自然の中でどのように遊んでいいかわからない現代の子ども達に、遊びのヒントを与え、率先して遊ぶことにより、自然遊びの面白さを伝えるプロのこと。



プレイリーダーによる  
自然遊びのレクチャーの様子

## ○市

チラシ配布などの広報活動や利用施設との連絡調整を行い、こだぬき会の活動を支援することができた。また、5月に行われた「子どもまつり」でもプレーパークを開催していただき、市の事業にもご協力していただいた。引き続き、連携を図り、子どもの居場所づくりの一つとして事業を支援していきたい。



9月開催のつながる農マルシェにて

## 今後の事業展開

- 来年度も2024年度と同じく第3日曜日にプレーパークの開催を行い、はだのプレーパークの認知を高める。
- 4月からの南が丘地区での放課後プレーパークの展開で、より地域に密接した子どもだけでも参加できる場を設け、地域の方の力を借りて、地域のなかで子どもを見守り育てる場を意識して展開していく。
- 現在のはだのプレーパークのメインの広報がSNSのため、SNSをしている方の参加が殆どである。SNSをしていない人に向けての広報も必要で工夫していく必要がある。
- プレーパークには学校に行っていない子どもたちの参加も多いため、不登校支援もしていきたいと考えている。

